

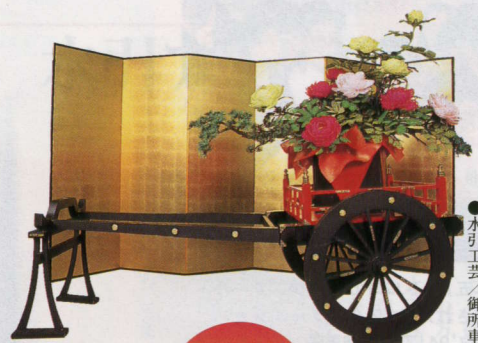
飯田の水引きの基礎をつくり、落語などでも語り継がれる「文七元結」の資料をはじめ、水引工芸の歴史・文化などわかりやすく解説し、お子様からお年寄りまでお楽しみ頂けます。



桜井文七
信州 飯田水引の歴史は、桜井文七なくして語ることはできません。文七は天和三年（一六八三年）頃、美濃国（現在の岐阜県）恵那郡浅谷村に生まれ、元禄二年（一六八九年）七歳で元結業に奉公に出され飯田に移り住みました。当時の元結は非常に弱く扱いに難かったため、文七はそこで修行を積みながら元結改良に日夜苦心を重ね、遂に丈夫な元結造りに成功。飯田を江戸に求めると、たちまち髪結床から注文が殺到。これを契機に江戸に御問屋を開業して後「文七元結」の名は国中に轟きました。故郷を離れ当地の元結業に貢献した文七も、宝暦三年（一七五三年）七月四日、七十歳で逝去。飯田市の長昌寺に埋葬されています。



元結とは、髪を束ねるための紙紐の事をいい、晒紙（和紙）を捻ったものに胡粉を塗り固めた紙でありながら非常に丈夫な紐です。この元結が普及する以前は麻糸や組紐が使用されてきましたが、その扱い易さから主に当時の紙結床の必需品として普及しました。飯田の元結造りは、元禄時代飯田の地を治めた藩主「堀奥作親昌」の産業政策に始まり、恵まれた環境と良質な水や豊富な原材料、街道などの流通経路などが相俟って、当時の主力産業として発展しました。明治四年の断髪令により元結は衰退を懸念されましたが、飯田の業者は水引に転じ現在に至っております。



●水引工芸／御所車

観光バス30台収容
大駐車場完備



世界一の水引殿堂

ふるさと水引工芸館

〒395-0156 長野県飯田市中村1287番地

営業時間 ●8:30am～5:00pm

年中無休／入館無料

●お問い合わせは●

TEL.0265(25)5222

●フリーダイヤル.0120-231087 FAX.0265-25-3724

信州特産のお漬物・お菓子など、お土産コーナーも充実

文七元結の伝統を今に残す

ふるさと水引工芸館

世界一の水引殿堂



全館
無料

水引工芸美術館

ふるさと水引工芸館

●フリーダイヤル.0120-231087 FAX.0265-25-3724

●ホームページ. http://www.clio.ne.jp/home/furusato/

元禄より今日まで
絶える事なく受け継がれた
信州飯田の水引工芸。
殿堂という名にふさわしい
匠の館がここにあります。



水引工芸家 東 宏吉

平成六年五月、トルコのイスタンブール市で開催された「イスタンブールジャパンフェスタ'94」での実演風景。
チョウの水引細工1,000個を、来訪者にプレゼントした他、鳳凰、クジャクなどの作品を展示・実演。水引きを通して、人と人との心を結び、日本の伝統文化を広く紹介した。



●工芸館をバックに記念撮影をどうぞ。※予め御予約下さい。

水引アートギャラリー

入場無料

日本古来より受け継がれ、飯田の歴史文化を代表する伝統工芸「水引」の素晴らしさを、地元はもとより観光客の皆様をはじめ多くの方々に改めてご紹介し、水引きについてより深い知識と親しみをもっていただくことをコンセプトとし、全館無料開放とさせていただきます。

飯田の旅の思い出に多くの皆様にご満足いただける様、努力してまいります。

水引工芸家 東 宏吉

菊人形



水引工芸作品を
お手元へ



羽子板



龍神宝船



小和田雅子様 贈呈
「鶴亀」モデル



皇太子様・小和田雅子様御納采の儀の折、縁起物の「鶴亀」を献上する

水引工芸の 生け花

造花では味わうことのできない
水引きならではの美しさ。



世界初の水引工芸ウエディングドレス

七福神宝船



実演体験コーナー

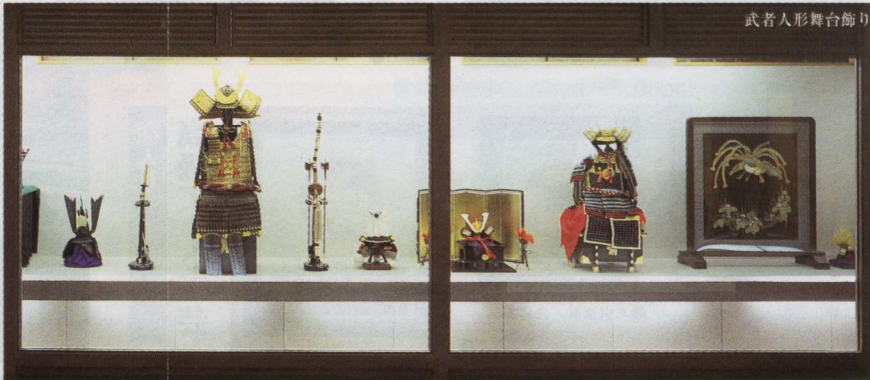
旅の思い出に水引工芸体験してみませんか。
ご予約いただければ、何名様でも対応させていただきます。●受講料金は、実費承ります。



干支飾り



武者人形舞台飾り



千種類の水引美術工芸品

水引工芸を

「芸術性の高い商品」として展示、販売するコーナーです。

水引細工の美しさを心ゆくまでご堪能ください。



●兜



●キーホルダー



●髪飾り



●鶴



●台付鳳凰



●鳳凰



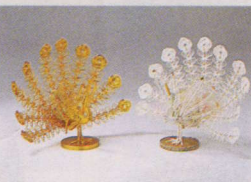
●髪飾り



●菊ケンガイ



●孔雀



●姫リンゴ



●一輪差し



●工芸額入／朱竹



●水引家紋／丸に木瓜



工芸社章●

高級アート工芸
額入り

